

諸井春畦 しゅあゐ 書家、漢詩人。慶應二年武藏國兒玉郡本庄村生れ、大正八年五月九日歿（一八六一—一九一九）。謹直行、字春卿、通稱時二郎、諸井時半の井時と修す。別號山紫閣。上京して理財（經濟）學を修めた。東京綿絲會社を興して代表社員となり、次に金融業を創業。一方書道に大分を有し、しゅせん 曲川春洞の師事してのち古法を研鑽して一家を成した。明治書道會會長等を務めて後進の育成に盡力。妻華畦と書家と二人の名高し。

著書 『山紫閣帖（楷書千字文）』（大正五年四月二十日押田善次郎刊）、『山紫閣詩稿』（大正十四年五月九日春畦會）等。

